

年頭のあいさつ



小城市議会 議長 中島 正之

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
市民の皆さまにおかれましては、希望にあふれた新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日ごろから議会活動に対し特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年7月に全国各地で発生した集中豪雨や台風被害は日本経済に大きな影響を及ぼしました。小城市においても集中豪雨に伴う家屋の浸水や道路の損壊などにより、大きな損害を被ったところであります。

このことは、私たちが、災害に対する備えの必要性を改めて痛感すると同時に、一方で町内会関係者による独居高齢者の安否確認や避難所における市民団体のボランティア活動など、助け合い、支え合う『地域の力』の大切さを再認識することにもなりました。

さて、小城市においては、3月に長崎自動車道小城スマートインターチェンジの開通、また、5月には、芦刈く白石間を結ぶ有明海沿岸道路六角川大橋の橋桁が架設され、本年3月完成予定となっております。今後、交流人口の増加により賑わいの創出が大いに期待できるものと確信いたしております。

小城市議会では、これまでに市議会だよりの発行、インターネットによるライブ中継やケーブルテレビによる議会放映、議員定数の削減等、議会改革に取り組んでまいりました。

これからも、『小城市議会基本条例』に掲げる理念のもと、開かれた議会をめざすとともに、市民の皆さまの声を十分にお聞きし、活発な議論を重ね、市民の皆さまが安心して健やかに暮らせるまちづくりに向け、市議会の改革・活性化に引き続き全力を尽くしてまいります。

結びに、本年が市民の皆さまにとりまして、幸せで実り多く、飛躍の年となりますことを心よりお祈りし、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成30年度 一般会計・特別会計・企業会計補正予算を可決

平成30年度一般会計補正予算は
1億8,539万円を追加し、総額218億5,260万1千円

歳入の主な内容は、事務事業に伴う国・県支出金、市債を増額するほか、市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、過年度事業の精算や返還による諸収入、額の確定等による地方特例交付金を計上し、財源調整のための財政調整基金繰入金を計上するものです。

歳出の主な内容は、「地域密着型サービス等整備助成事業」のほか、「子どもの医療費助成事業」、農地等の災害復旧費用などを計上するものです。

なお、人事異動等に伴う職員の人件費の補正についても計上しています。